

リーディングDXスクール事業【実践事例】

六ヶ所村立南小学校（青森県）

【取組内容②】 オンライン授業による「人との交流を通じた学び」、動画活用による「人とのかかわり方についての学び」

東北大学小学生理科出前授業

外部専門家とのオンライン授業で、「エネルギーとは何か」「日本や世界のエネルギー事情」について分かりやすい解説を聞きながら、日本の未来のエネルギーはどうあるべきか、児童一人一人が自分の考えを深めていた。



六ヶ所村の特産品のこれから

村内他校の児童との遠隔合同授業。村特産品の魅力をさらに発信するためのアイデアをGoogle Jamboard等を使って意見交流した。



夢の実現のために

プロサッカー選手とのオンライン授業。夢をもつことの大切さ、実現のために必要なことを聞きながら、児童は自分の今後の生き方について考えを深めていた。



「NHK for School」でかかわり方を考える

「u&i」を継続して活用し、多様性についての理解を深め、どうかかわっていくかを考える授業。支援級児童が交流している学級では、「なぜ支援級があるのか?」「支援級の児童は“特別”なのか」についても意見交流し、「みんなが楽しいと思えるクラス、みんなが快適だと思えるクラス」のために必要なことを考えた。



今回の勉強で、僕は、この世界には、いろんな苦手なことがある人がいて、その人は、その苦手なことをこくふくするために努力をとめているのだなあと思いました。でもその人は、僕たちと、同じく、得意なこと不得意なこと、があるし、僕たちも苦手がある人もその苦手なことを治すことが、大切なのだなあと思いました。あと、僕たちも、苦手なことがある人たちも、同じ人間なので、差別などは、絶対にしてはならないと強く思いました。